

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第7号 令和7年10月24日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosvo@itoigawa.ed.ip

(HP)https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/(携帯)http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/

わかばコンサート

失敗をほめよう(10月全校集会の講話から)

ご来場ありがとうございました

校長 冨永 浩文

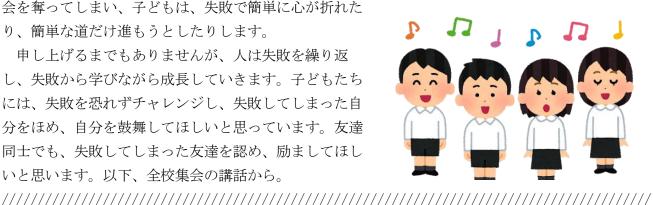
10月初旬、わかばコンサートに向けた練習まっただ中です。講堂から響いてくる演奏に、着実な仕 上がりを実感しながら嬉しく耳を傾けています。子どもたちの歌声や音色、発表の声は、失敗や間違 いを重ねながらも、確実に美しくなり、自信に満ちて、統一感が出てきました。これは、子どもたち の向上心と、ひたむきな努力があるからです。間違いや失敗から始まる成功への道。成功して実感す る達成感、充実感を、音楽発表に限らず、子どもたちには色々な場面で感得してほしいと願います。

子どもの成長に寄り添うとき、子どもに失敗させないように盤石なレールを敷いたり、障害物を取 り除いたりしてしまうことがあります。そのために挫折から立ち上がる力、創意工夫する力が育つ機

会を奪ってしまい、子どもは、失敗で簡単に心が折れた

り、簡単な道だけ進もうとしたりします。

申し上げるまでもありませんが、人は失敗を繰り返 し、失敗から学びながら成長していきます。子どもたち には、失敗を恐れずチャレンジし、失敗してしまった自 分をほめ、自分を鼓舞してほしいと思っています。友達 同士でも、失敗してしまった友達を認め、励ましてほし いと思います。以下、全校集会の講話から。



(前略) 色々な大会やコンクールなどで、優勝したり、成功して良い賞をとったりするかげで、残 念ながら努力が実らず負けたり、失敗したりして、悔しい思いをしている人がいます。今回表彰され た人でも、それまでに、負けたり、失敗したりしている経験があるのではないでしょうか。勝利、成 功のかげには、たくさんの負けや失敗があるのです。

誰しも負けたり、失敗したりするのはいやです。負けたくないから、失敗したくないから挑戦する ことをさけたり、あきらめたりする人がいます。皆さんはどう思いますか。負けたり、失敗したりす ることは、私たちの成長にとって、決して無駄ではありません。大切なのは、負けたり、失敗したり した経験から、何を学ぶかです。そして、学んだことを次にどう活かすかです。私たちは、成功した 経験からよりも、負けたり、失敗したりした経験から学ぶことの方が多いのです。

だから、勇気を出して挑戦して負けた自分には、「次があるよ」と励ましましょう。失敗した自分に は、「よくやったよ」とほめましょう。もし、近くに失敗したり、負けたりして落ち込んでいる人がい たら、「大丈夫だよ、がんばったよ」と励ましたり、ほめてあげたりしましょう。

たくさん負けたり、失敗したりした人には、へこたれない力、立ち上がる力が体の中に蓄えられて いきます。そして、あるとき、ものすごい成功や勝利を収めることにつながります。(後略)

1年生と一緒に羊を飼育しています。なかなか思うとおりにうまくいかず、失敗の連続です。私も心 が折れそうになります。しかし、子どもたちや他の職員といっしょにやっていると、不思議と元気が 出ます。命を預かる重みを感じながらがんばります、お互いに失敗をほメーあい、あきらメーずに。